

業績ハイライト

－ 2023年3月期第2四半期決算について －



目次

1. 損益の状況	…	1
2. 自己資本比率の状況	…	4
3. 貸出金の状況	…	5
4. 預金の状況	…	6
5. 預かり資産の状況	…	7
6. 有価証券の状況	…	8
7. 金融再生法開示債権の状況	…	9
8. 経営指標	…	10
9. 2023年3月期 業績予想及び配当方針	…	10

1. 損益の状況

① じもとホールディングス連結

(単位: 百万円、%)

	2022年9月期			2021年9月期	2022年3月期 (参考)
		前年同期比	増減率		
連結経常収益	18,817	△ 994	△ 5.0	19,812	40,207
経常利益	△ 1,269	△ 3,665	-	2,395	4,486
親会社株主に帰属する中間純利益	△ 4,068	△ 5,673	-	1,604	2,585

- じもとホールディングスの連結経常収益は188億17百万円となりました。
- 両子銀行の有価証券利息配当金が減少し、きらやか銀行では特定の大口与信先の業績不振に関連する引当金を計上したことから、経常利益は前年同期比36億65百万円減少の△12億69百万円となりました。
- きらやか銀行の店舗再編に伴う減損損失、法人税等調整額の見直しにより、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比56億73百万円減少の△40億68百万円となりました。

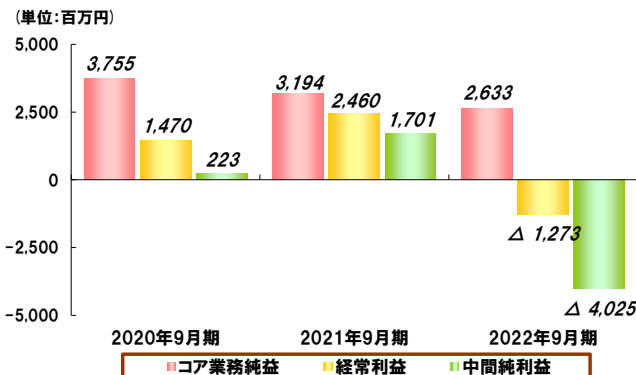
② 2行合算

(単位: 百万円、%)

	2022年9月期			2021年9月期	2022年3月期 (参考)
		前年同期比	増減率		
経常収益	16,236	△ 981	△ 5.6	17,217	34,650
業務粗利益	13,456	△ 970	△ 6.7	14,427	29,300
資金利益	12,106	△ 1,008	△ 7.6	13,114	26,294
役務取引等利益	1,112	△ 105	△ 8.6	1,217	2,873
その他業務利益	238	143	151.0	94	131
うち国債等債券損益	△ 29	△ 16	-	△ 13	△ 178
経費(除く臨時処理分)	10,853	△ 392	△ 3.4	11,245	22,362
うち人件費	5,319	△ 220	△ 3.9	5,539	10,979
うち物件費	4,613	△ 179	△ 3.7	4,792	9,544
実質業務純益(注1)	2,603	△ 578	△ 18.1	3,181	6,937
コア業務純益(注2)	2,633	△ 561	△ 17.5	3,194	7,116
除く投資信託解約損益	2,544	△ 608	△ 19.2	3,152	7,040
一般貸倒引当金繰入額	652	1,054	-	△ 402	883
業務純益	1,951	△ 1,632	△ 45.5	3,584	6,054
臨時損益	△ 3,225	△ 2,101	-	△ 1,123	△ 1,643
うち不良債権処理額	3,078	2,077	207.6	1,000	1,598
うち個別貸倒引当金繰入額	2,863	1,943	211.3	919	1,320
うち貸倒引当金戻入益	9	9	-	-	-
うち株式等関係損益	△ 0	△ 75	-	74	198
経常利益	△ 1,273	△ 3,734	-	2,460	4,410
特別損益	△ 491	△ 433	-	△ 57	△ 224
法人税等合計(△)	2,260	1,558	222.1	701	1,601
うち法人税等調整額(△)	1,950	1,578	423.9	372	939
中間純利益	△ 4,025	△ 5,726	-	1,701	2,584
与信関係費用	3,721	3,125	524.6	595	2,465

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益



- 2行合算の経常収益は、前年同期比9億81百万円減少の162億36百万円(増減率△5.6%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費が減少した一方で、有価証券利息配当金の減少等により資金利益が減少したことなどから、前年同期比5億61百万円減少の26億33百万円(増減率△17.5%)となりました。
- 経常利益は前年同期比37億34百万円減少の△12億73百万円、中間純利益は前年同期比57億26百万円減少の△40億25百万円となりました。

1. 損益の状況

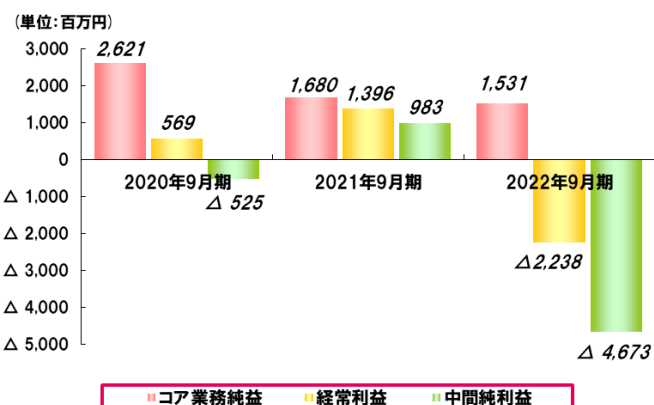
③ きらやか銀行単体

(単位:百万円、%)

	2022年9月期	前年同期比	増減率	2021年9月期	2022年3月期 (参考)
経常収益	8,794	△ 440	△ 4.7	9,235	18,415
業務粗利益	7,301	△ 474	△ 6.0	7,776	15,780
資金利益	6,268	△ 488	△ 7.2	6,756	13,355
うち貸出金利息	5,684	△ 7	△ 0.1	5,691	11,486
うち有価証券利息配当金	557	△ 538	△ 49.0	1,096	1,877
役務取引等利益	860	△ 56	△ 6.1	917	2,206
その他業務利益	172	70	69.2	102	217
うち国債等債券損益	△ 12	△ 1	-	△ 11	△ 16
経費(除く臨時処理分)	5,782	△ 324	△ 5.3	6,106	12,138
うち人件費	2,821	△ 155	△ 5.2	2,977	5,956
うち物件費	2,488	△ 153	△ 5.7	2,641	5,239
実質業務純益(注1)	1,518	△ 150	△ 9.0	1,669	3,642
コア業務純益(※注2)	1,531	△ 148	△ 8.8	1,680	3,658
(除く投資信託解約損益)	1,531	△ 148	△ 8.8	1,680	3,658
①一般貸倒引当金繰入額	652	805	-	△ 152	1,029
業務純益	866	△ 955	△ 52.4	1,821	2,613
臨時損益	△ 3,104	△ 2,678	-	△ 425	△ 636
②うち不良債権処理額	2,967	2,695	991.9	271	407
うち個別貸倒引当金繰入額	2,863	2,643	-	219	166
うち貸倒引当戻入益	-	-	-	-	0
うち株式等関係損益	△ 3	△ 5	-	1	25
経常利益	△ 2,238	△ 3,634	-	1,396	1,976
特別損益	△ 441	△ 442	-	1	△ 128
法人税等合計(△)	1,993	1,579	381.3	414	770
うち法人税等調整額(△)	1,913	1,664	669.3	248	558
中間純利益	△ 4,673	△ 5,656	-	983	1,078
与信関係費用	3,619	3,500	-	119	1,436

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益



- 経常収益は、有価証券利息配当金等の減少などにより、前年同期比4億40百万円減少の87億94百万円(増減率△4.7%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費を前年同期比3億24百万円減少させたものの、有価証券利息配当金が減少し、前年同期比1億48百万円減少の15億31百万円となりました。
- 与信関係費用は、特定の大口取引先の業況悪化に伴い、前年同期比35億円増加の36億19百万円となりました。
- 経常利益は前年同期比36億34百万円減少の22億38百万円の赤字となりました。加えて、店舗再編に伴う減損損失、法人税等調整額の見直しを行ったことから、中間純利益は前年同期比56億56百万円減少し、46億73百万円の赤字となりました。

1. 損益の状況

④ 仙台銀行単体

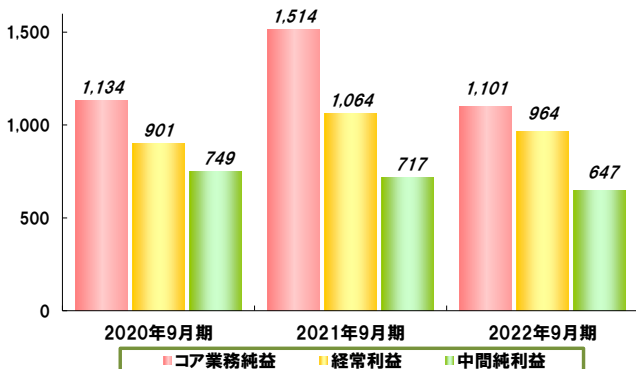
(単位:百万円、%)

	2022年9月期			2021年9月期	2022年3月期 (参考)
		前年同期比	増減率		
経常収益	7,442	△ 540	△ 6.7	7,982	16,235
業務粗利益	6,155	△ 495	△ 7.4	6,650	13,519
資金利益	5,838	△ 519	△ 8.1	6,358	12,938
うち貸出金利息	5,238	121	2.3	5,117	10,285
うち有価証券利息配当金	540	△ 689	△ 56.0	1,230	2,562
役務取引等利益	251	△ 48	△ 16.2	300	667
その他業務利益	65	72	-	△ 7	△ 85
うち国債等債券損益	△ 16	△ 15	-	△ 1	△ 162
経費(除く臨時処理分)	5,070	△ 68	△ 1.3	5,138	10,224
うち人件費	2,498	△ 64	△ 2.5	2,562	5,023
うち物件費	2,124	△ 26	△ 1.2	2,151	4,305
実質業務純益(注1)	1,084	△ 427	△ 28.2	1,512	3,295
コア業務純益(注2)	1,101	△ 412	△ 27.2	1,514	3,458
(除く投資信託解約損益)	1,012	△ 459	△ 31.2	1,471	3,382
①一般貸倒引当金繰入額	-	249	-	△ 249	△ 145
業務純益	1,084	△ 677	△ 38.4	1,762	3,441
臨時損益	△ 120	577	-	△ 698	△ 1,007
②うち不良債権処理額	111	△ 617	△ 84.6	729	1,191
うち個別貸倒引当金繰入額	-	△ 699	-	699	1,154
(貸倒償却引当費用①+②)	111	△ 367	△ 76.7	479	1,045
うち貸倒引当金戻入益	9	9	-	-	-
うち株式等関係損益	2	△ 70	△ 96.3	72	173
経常利益	964	△ 100	△ 9.4	1,064	2,434
特別損益	△ 49	9	-	△ 58	△ 96
法人税等合計(△)	267	△ 20	△ 7.1	287	831
うち法人税等調整額(△)	36	△ 86	△ 70.1	123	380
中間純利益	647	△ 70	△ 9.7	717	1,506
与信関係費用	102	△ 374	△ 78.5	476	1,029

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

(単位:百万円)

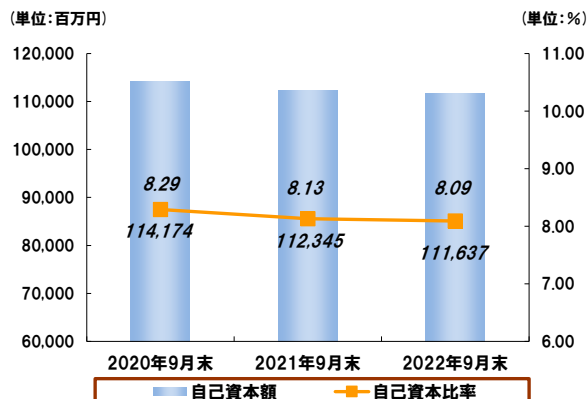


- 経常収益は、貸出金利息が増加したものの、有価証券利息配当金の減少などにより資金運用収益が減少したことなどから、前年同期比5億40百万円減少の74億42百万円(増減率△6.7%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、有価証券利息配当金の減少等により資金利益が減少したことなどから、前年同期比4億12百万円減少の11億1百万円(増減率△27.2%)となりました。
- 与信関係費用は、個別貸倒引当金繰入額の減少等により不良債権処理額が減少したことなどから、前年同期比3億74百万円減少の1億2百万円となりました。
- 経常利益は前年同期比1億円減少の9億64百万円、中間純利益は前年同期比70百万円減少の6億47百万円となりました。

2. 自己資本比率の状況

① じもとホールディングス連結

自己資本比率の推移



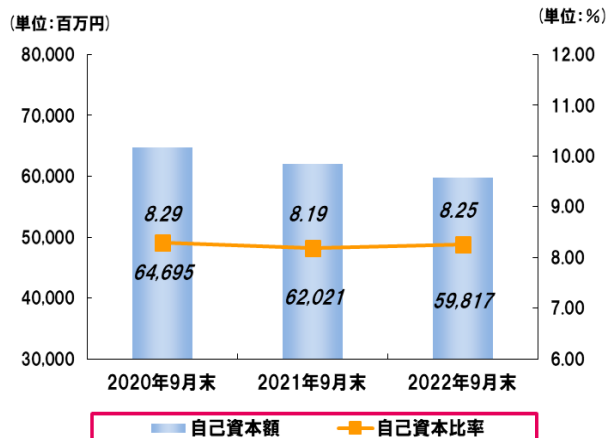
- じもとホールディングスの連結自己資本比率は8.09%となりました。

(単位: %)

	2022年 9月末	2021年 9月末比	2021年 9月末
連結自己資本比率	8.09	△ 0.04	8.13

② きらやか銀行

自己資本比率(単体)の推移



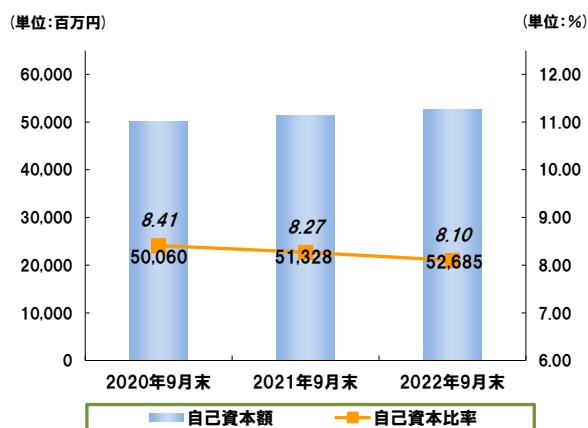
- 単体の自己資本比率は、自己資本(分子)が減少したものの、リスクアセット(分母)が減少したことなどから、2021年9月末比0.06ポイント上昇し8.25%となりました。

(単位: %)

	2022年 9月末	2021年 9月末比	2021年 9月末
自己資本比率【単体】	8.25	0.06	8.19
自己資本比率【連結】	8.11	0.06	8.05

③ 仙台銀行

自己資本比率(単体)の推移



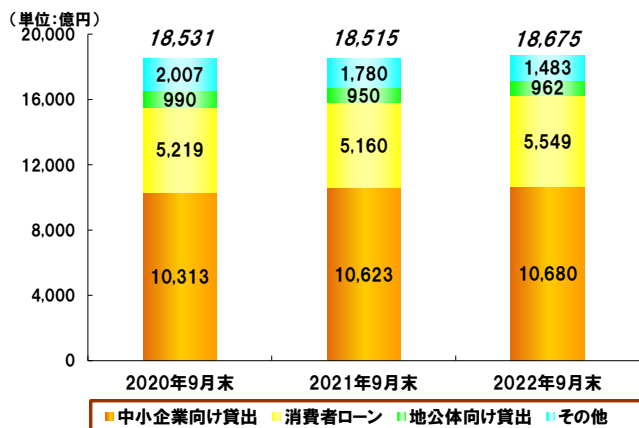
- 単体の自己資本比率は、中間純利益を6億47百万円計上したことなどにより自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加などに伴いリスクアセット(分母)が増加したことから、2021年9月末比0.17ポイント低下の8.10%となりました。

(単位: %)

	2022年 9月末	2021年 9月末比	2021年 9月末
自己資本比率【単体】	8.10	△ 0.17	8.27
自己資本比率【連結】	8.11	△ 0.16	8.27

3. 貸出金の状況

① 2行合算

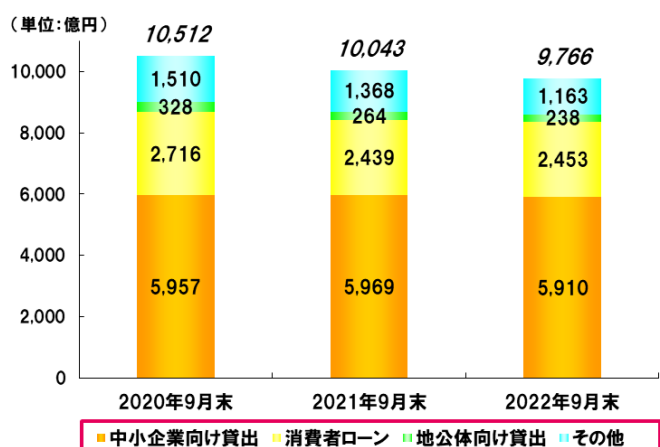


● 2行合算の貸出金残高は、2021年9月末比160億44百万円増加の1兆8,675億55百万円となりました。

(単位: 百万円, %)

	2022年9月末	2021年9月末比	増減率	2021年9月末
貸出金(末残)	1,867,555	16,044	0.8	1,851,510
うち中小企業向け貸出残高	1,068,069	5,680	0.5	1,062,388
うち消費者ローン	554,915	38,883	7.5	516,031
うち住宅ローン	515,050	39,894	8.3	475,156
うち地方公共団体向け貸出	96,268	1,263	1.3	95,005

② きらやか銀行



● 貸出金残高は、政策的にシンジケート・ローン等の大企業向け貸出を減少させたことなどから、2021年9月末比277億12百万円減少の9,766億17百万円となりました。

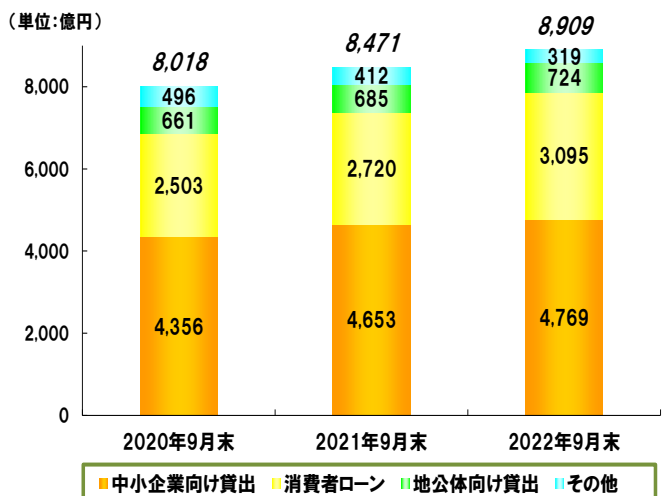
● 中小企業向け貸出は、2021年9月末比58億99百万円減少の5,910億93百万円となりました。

● 消費者ローンは、住宅ローン残高が増加したことなどから、2021年9月末比13億61百万円増加の2,453億51百万円となりました。

(単位: 百万円, %)

	2022年9月末	2021年9月末比	増減率	2021年9月末
貸出金(末残)	976,617	△ 27,712	△ 2.7	1,004,330
うち中小企業向け貸出残高	591,093	△ 5,899	△ 0.9	596,993
うち消費者ローン	245,351	1,361	0.5	243,990
うち住宅ローン	230,963	2,580	1.1	228,382
うち地方公共団体向け貸出	23,806	△ 2,656	△ 10.0	26,462

③ 仙台銀行



● 貸出金残高は、2021年9月末比437億56百万円増加の8,909億37百万円となり、仙台銀行として過去最高の貸出金残高となりました。

● 中小企業向け貸出は、新型コロナウイルス感染症関連の支援を継続したことにより、2021年9月末比115億80百万円増加の4,769億76百万円となりました。

● 消費者ローンは、住宅ローン残高が増加したことなどから、2021年9月末比375億22百万円増加の3,095億63百万円となりました。

● 地方公共団体向け貸出は、2021年9月末比39億18百万円増加の724億61百万円となりました。

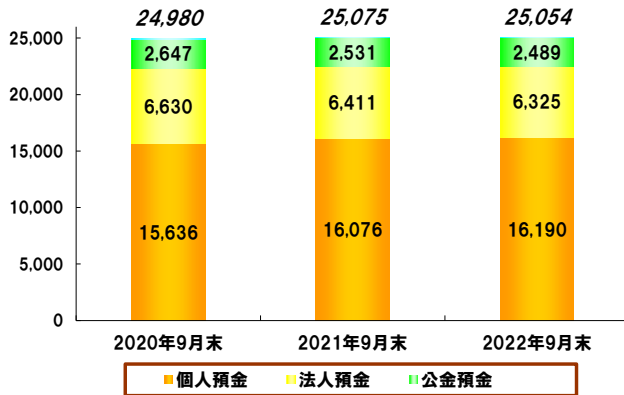
(単位: 百万円, %)

	2022年9月末	2021年9月末比	増減率	2021年9月末
貸出金(末残)	890,937	43,756	5.1	847,180
うち中小企業向け貸出残高	476,976	11,580	2.4	465,395
うち消費者ローン	309,563	37,522	13.7	272,041
うち住宅ローン	284,087	37,313	15.1	246,773
うち地方公共団体向け貸出	72,461	3,918	5.7	68,543

4. 預金（譲渡性預金を含む）の状況

① 2行合算

(単位:億円)



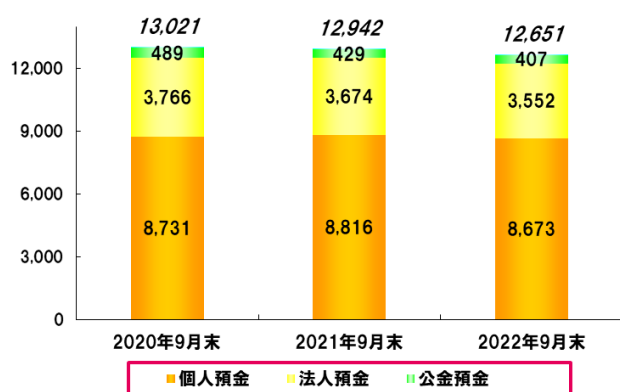
- 2行合算の預金残高は、2021年9月末比21億52百万円減少の2兆5,054億13百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2022年9月末	2021年9月末比	増減率	2021年9月末
	預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,505,413	△ 2,152	△ 0.0
うち個人預金	1,619,034	11,373	0.7	1,607,661
うち法人預金	632,573	△ 8,588	△ 1.3	641,161
うち公金預金	248,951	△ 4,233	△ 1.6	253,185

② きらやか銀行

(単位:億円)



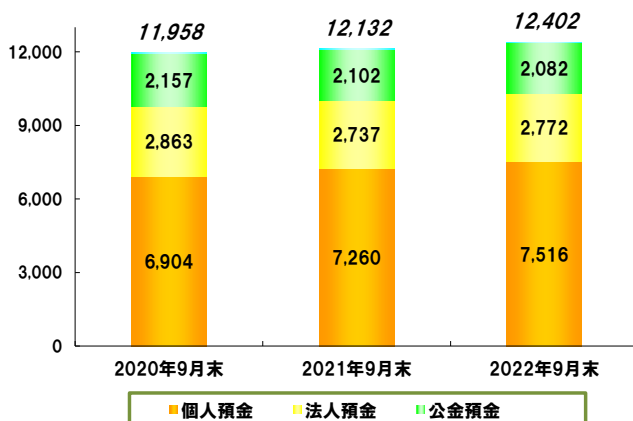
- 預金残高は、2021年9月末比290億86百万円減少の1兆2,651億83百万円となりました。
- 個人預金は2021年9月末比142億58百万円減少の8,673億80百万円となりました。
- 法人預金は、2021年9月末比121億60百万円減少の3,552億90百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2022年9月末	2021年9月末比	増減率	2021年9月末
	預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,265,183	△ 29,086	△ 2.2
うち個人預金	867,380	△ 14,258	△ 1.6	881,638
うち法人預金	355,290	△ 12,160	△ 3.3	367,451
うち公金預金	40,741	△ 2,202	△ 5.1	42,943

③ 仙台銀行

(単位:億円)



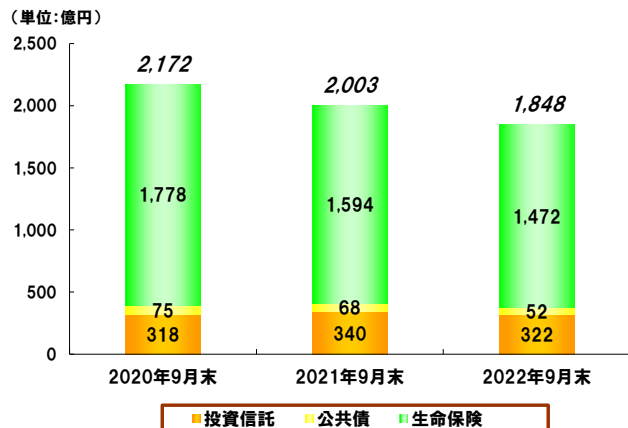
- 預金残高は、2021年9月末比269億34百万円増加の1兆2,402億30百万円となりました。
- 個人預金は、2021年9月末比256億31百万円増加の7,516億54百万円となりました。
- 法人預金は、2021年9月末比35億72百万円増加の2,772億82百万円となりました。
- 公金預金は、2021年9月末比20億31百万円減少の2,082億10百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2022年9月末	2021年9月末比	増減率	2021年9月末
	預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,240,230	26,934	2.2
うち個人預金	751,654	25,631	3.5	726,022
うち法人預金	277,282	3,572	1.3	273,710
うち公金預金	208,210	△ 2,031	△ 0.9	210,241

5. 預かり資産の状況

① 2行合算

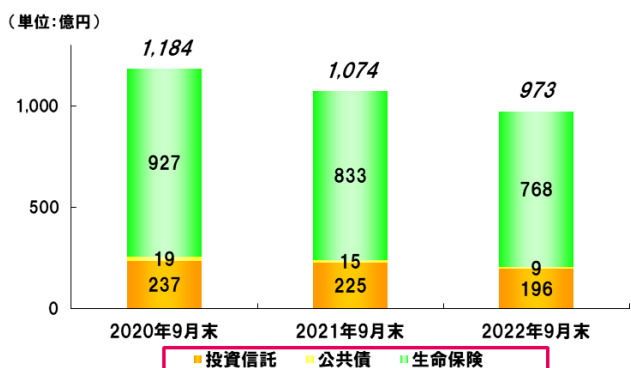


- 2行合算の預かり資産残高は、2021年9月末比155億円減少の1,848億14百万円となりました。

(単位: 百万円, %)

	2022年9月末	2021年9月末比	増減率	2021年9月末
預かり資産(末残)	184,814	△ 15,500	△ 7.7	200,314
うち投資信託	32,249	△ 1,761	△ 5.1	34,011
うち公共債(国債等)	5,282	△ 1,609	△ 23.3	6,892
うち生命保険	147,281	△ 12,129	△ 7.6	159,410

② きらやか銀行

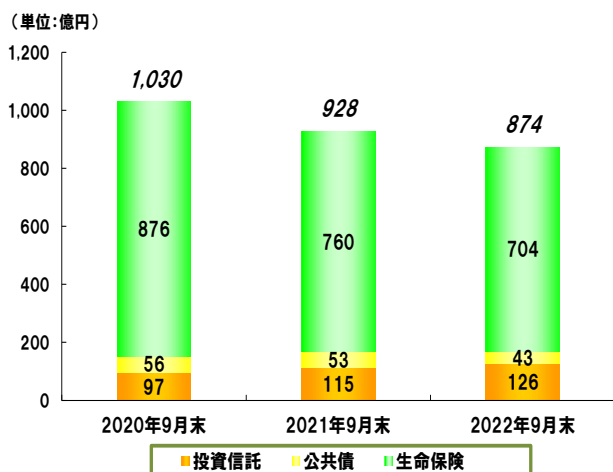


- 預かり資産残高は、2021年9月末比100億56百万円減少の973億68百万円となりました。
- 投資信託は、2021年9月末比28億63百万円減少の196億47百万円となりました。
- 公共債は、2021年9月末比6億62百万円減少の9億18百万円となりました。
- 生命保険は、2021年9月末比65億30百万円減少の768億3百万円となりました。

(単位: 百万円, %)

	2022年9月末	2021年9月末比	増減率	2021年9月末
預かり資産(末残)	97,368	△ 10,056	△ 9.3	107,424
うち投資信託	19,647	△ 2,863	△ 12.7	22,511
うち公共債(国債等)	918	△ 662	△ 41.9	1,580
うち生命保険	76,803	△ 6,530	△ 7.8	83,333

③ 仙台銀行



- 預かり資産残高は、2021年9月末比54億44百万円減少の874億45百万円となりました。
- 投資信託は、お客さまの資産運用ニーズへ積極的に対応したことにより、2021年9月末比11億2百万円増加の126億2百万円となりました。
- 公共債は、2021年9月末比9億47百万円減少の43億64百万円となりました。
- 生命保険は、2021年9月末比55億99百万円減少の704億78百万円となりました。

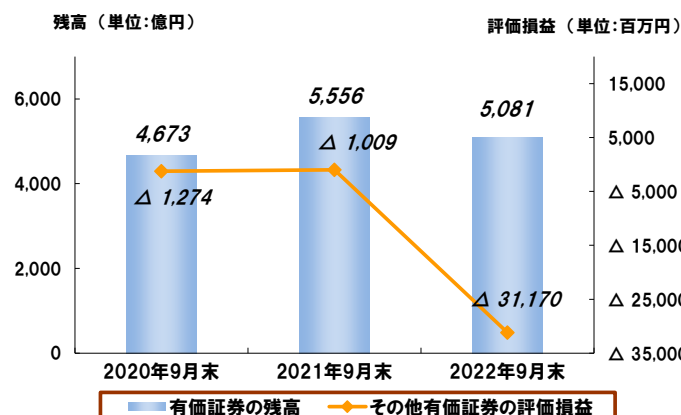
(単位: 百万円, %)

	2022年9月末	2021年9月末比	増減率	2021年9月末
預かり資産(末残)	87,445	△ 5,444	△ 5.8	92,890
うち投資信託	12,602	1,102	9.5	11,500
うち公共債(国債等)	4,364	△ 947	△ 17.8	5,312
うち生命保険	70,478	△ 5,599	△ 7.3	76,077

6. 有価証券の状況

① 2行合算

- 2行合算の有価証券残高は、2021年9月末比475億23百万円減少の5,081億10百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、2021年9月末比301億60百万円減少し、311億70百万円の評価損となりました。



①有価証券の残高 (単位:百万円、%)

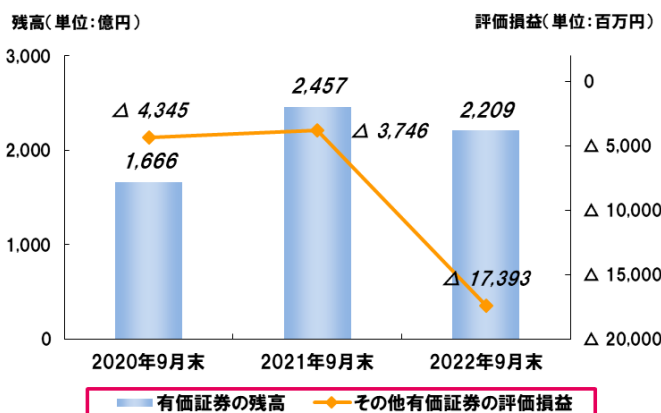
	2022年9月末	2021年9月末比	増減率	2021年9月末
有 価 証 券	508,110	△ 47,523	△ 8.5	555,633
国 債	4,759	△ 7,103	△ 59.8	11,863
地 方 債	43,392	△ 9,188	△ 17.4	52,581
社 債	72,105	△ 550	△ 0.7	72,655
株 式	8,283	104	1.2	8,179
そ の 他 証 券	379,568	△ 30,784	△ 7.5	410,353

②その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

	2022年9月末	2021年9月末比	2021年9月末
そ の 他 有 価 証 券	△ 31,170	△ 30,160	△ 1,009
株 式	254	27	226
債 券	△ 1,027	△ 1,025	△ 1
そ の 他	△ 30,397	△ 29,162	△ 1,234

② きらやか銀行

- 有価証券残高は、期日償還や売却などにより国債などが減少したことから、2021年9月末比248億3百万円減少し、2,209億37百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、海外金利の急激な上昇による影響を受け、2021年9月末比136億47百万円減少し173億93百万円の評価損となりました。



①有価証券の残高 (単位:百万円、%)

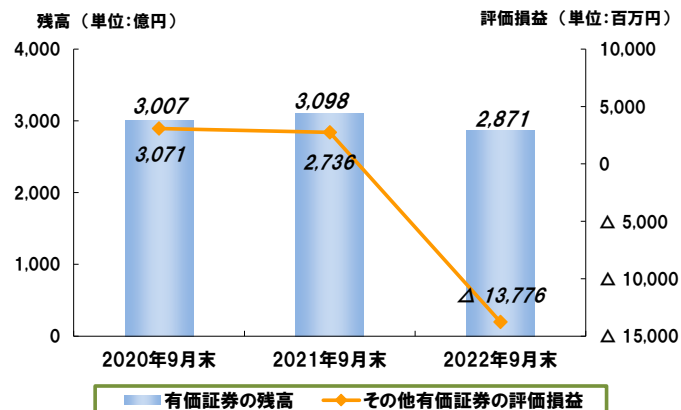
	2022年9月末	2021年9月末比	増減率	2021年9月末
有 価 証 券	220,937	△ 24,803	△ 10.0	245,741
国 債	0	△ 10,346	-	10,346
地 方 債	7,519	△ 566	△ 7.0	8,086
社 債	40,675	△ 713	△ 1.7	41,388
株 式	6,481	60	0.9	6,420
そ の 他 証 券	166,262	△ 13,237	△ 7.3	179,499

②その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

	2022年9月末	2021年9月末比	2021年9月末
そ の 他 有 価 証 券	△ 17,393	△ 13,647	△ 3,746
株 式	249	70	179
債 券	△ 777	△ 791	14
そ の 他	△ 16,865	△ 12,925	△ 3,939

③ 仙台銀行

- 有価証券残高は、投資環境や市場動向を踏まえた運用により、2021年9月末比227億19百万円減少し、2,871億72百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、海外金利の急激な上昇による影響を受け、2021年9月末比165億13百万円減少し137億76百万円の評価損となりました。



①有価証券の残高 (単位:百万円、%)

	2022年9月末	2021年9月末比	増減率	2021年9月末
有 価 証 券	287,172	△ 22,719	△ 7.3	309,892
国 債	4,759	3,243	213.8	1,516
地 方 債	35,873	△ 8,621	△ 19.3	44,495
社 債	31,430	162	0.5	31,267
株 式	1,802	43	2.4	1,759
そ の 他 証 券	213,306	△ 17,547	△ 7.6	230,853

②その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

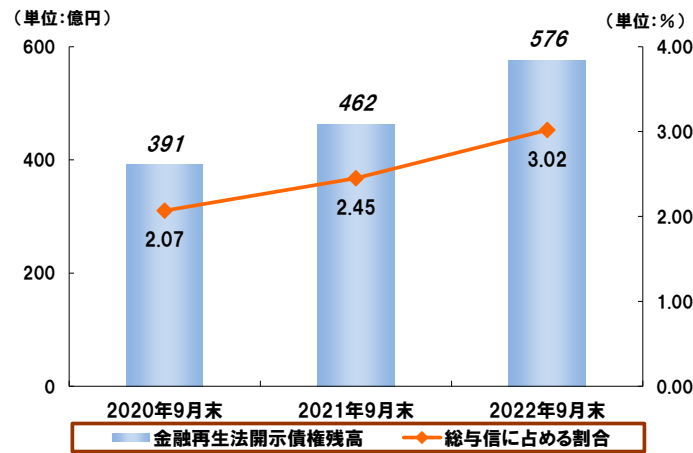
	2022年9月末	2021年9月末比	2021年9月末
そ の 他 有 価 証 券	△ 13,776	△ 16,513	2,736
株 式	4	△ 42	47
債 券	△ 249	△ 233	△ 16
そ の 他	△ 13,531	△ 16,236	2,705

(注) その他有価証券の評価については、決算日の市場価格に基づいております。

7. 金融再生法開示債権の状況

① 2行合算

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2021年9月末比114億55百万円増加の576億59百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2021年9月末比0.57ポイント上昇し、3.02%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

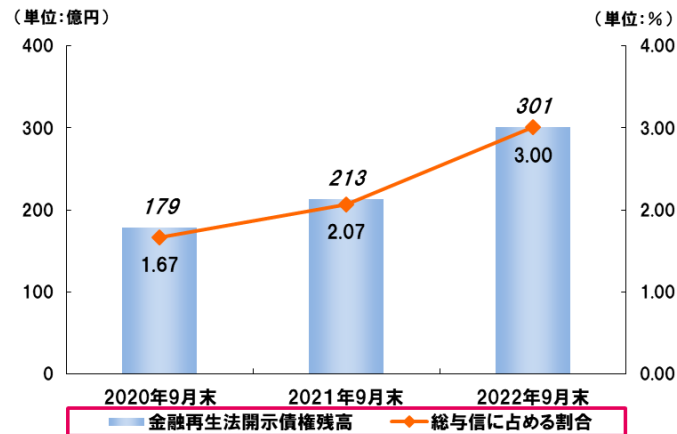
	2022年9月末	2021年9月末比	2021年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,645	2,015	4,630
危険債権	43,730	8,367	35,362
要管理債権	7,283	1,072	6,210
合計(A)	57,659	11,455	46,203
正常債権	1,845,891	6,317	1,839,574
総与信額(B)	1,903,550	17,772	1,885,777
(A/B)	3.02	0.57	2.45

②金融再生法開示債権の保全状況(2022年9月末) (単位:百万円、%)

	債権額(A)	保全額(B)	保全率(B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,645	6,645	2,820	3,825	100.00
危険債権	43,730	35,795	30,849	4,945	81.85
要管理債権	7,283	3,637	2,183	1,454	49.95
合計	57,659	46,078	35,853	10,224	79.91

② きらやか銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、大口取引先の業況悪化に伴う債務者区分の見直しなどにより、2021年9月末比87億76百万円増加の301億73百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2021年9月末比0.93ポイント上昇し3.00%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

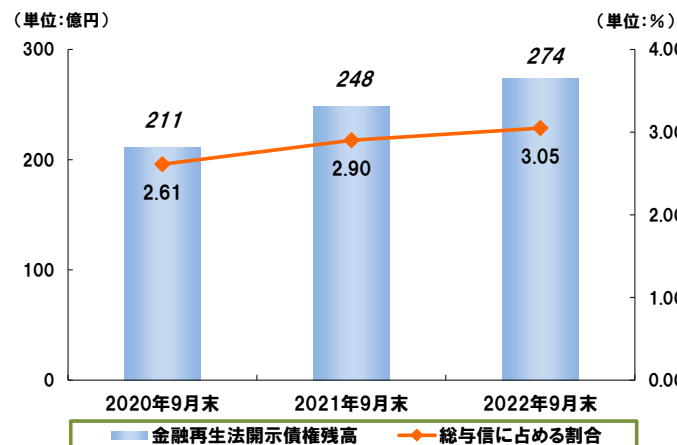
	2022年9月末	2021年9月末比	2021年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,916	1,866	3,049
危険債権	21,573	5,809	15,764
要管理債権	3,683	1,100	2,582
合計(A)	30,173	8,776	21,396
正常債権	974,088	△ 35,595	1,009,683
総与信額(B)	1,004,261	△ 26,819	1,031,080
(A/B)	3.00	0.93	2.07

②金融再生法開示債権の保全状況(2022年9月末) (単位:百万円、%)

	債権額(A)	保全額(B)	保全率(B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,916	4,916	1,448	3,467	100.00
危険債権	21,573	14,320	12,975	1,345	66.38
要管理債権	3,683	1,677	298	1,378	45.53
合計	30,173	20,914	14,723	6,190	69.31

③ 仙台銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2021年9月末比26億79百万円増加の274億86百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2021年9月末比0.15ポイント上昇し3.05%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

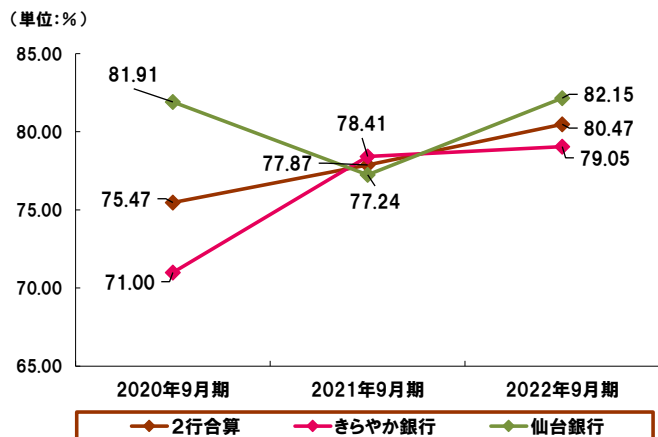
	2022年9月末	2021年9月末比	2021年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,729	148	1,580
危険債権	22,156	2,558	19,598
要管理債権	3,599	△ 28	3,628
合計(A)	27,486	2,679	24,806
正常債権	871,802	41,912	829,890
総与信額(B)	899,289	44,591	854,697
(A/B)	3.05	0.15	2.90

②金融再生法開示債権の保全状況(2022年9月末) (単位:百万円、%)

	債権額(A)	保全額(B)	保全率(B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,729	1,729	1,371	358	100.00
危険債権	22,156	21,474	17,874	3,599	96.92
要管理債権	3,599	1,960	1,884	76	54.46
合計	27,486	25,164	21,130	4,033	91.55

8. 経営指標

- 2行合算のコアOHR（債券関係損益を除く）は、2021年9月期比2.60ポイント上昇し、80.47%となりました。



(単位:%)

		2022年9月期	2021年9月期比	2021年9月期
コアOHR	2行合算	80.47	2.60	77.87
	きらやか銀行	79.05	0.64	78.41
	仙台銀行	82.15	4.91	77.24

9. 2023年3月期 業績予想及び配当方針

① じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

- じもとホールディングスの2023年3月期通期の連結業績予想は、経常利益△8億円、親会社株主に帰属する当期純利益△40億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの2023年3月期の中間配当金は、1株あたり7円50銭をお支払いいたします。期末配当金は1株あたり7円50銭、2023年3月期の年間配当金は、1株あたり15円を予定しております。

【業績予想】

(単位:百万円) 【配当予想】

	2023年3月期	(参考) 2022年3月期	基準日	中間	期末	年間
経常利益	△ 800	4,486	2023年3月期	7円50銭	7円50銭	15円00銭
親会社株主に 帰属する当期純利益	△ 4,000	2,585	(参考)2022年3月期	10円00銭	10円00銭	20円00銭

② 子銀行の個別業績予想

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益△22億円、当期純利益△49億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益13億円、当期純利益8億円を見込んでおります。

きらやか銀行

(単位:百万円)

	2023年3月期	(参考) 2022年3月期
経常利益	△ 2,200	1,976
当期純利益	△ 4,900	1,078

仙台銀行

(単位:百万円)

	2023年3月期	(参考) 2022年3月期
経常利益	1,300	2,434
当期純利益	800	1,506